

## 平成 25 年度 第 2 回三条市食育推進及び農業振興審議会 会議録

1 日 時 平成 25 年 11 月 14 日 (木) 午後 1 時 30 分～ 3 時 15 分

2 会 場 諸橋轍次記念館

### 3 議 題

(1) 委嘱状の交付

### 4 報告事項

(1) 第 2 次三条市農業活性化プラン 平成 25 年度中間報告

(2) 第 2 次三条市食育推進計画 平成 25 年度中間報告

(3) 「高齢者の食と暮らしの調査」結果等

(4) 高校生の食育について

### 5 出席状況

(1) 出席委員

粟生田委員、神田委員、皆川委員、金子委員、外山委員、星野委員、渡邊委員、  
歌川委員、岩崎委員、小林委員、佐久間委員

(2) 欠席委員

坂井委員、高野委員、高橋委員、五十嵐委員

(3) 事務局職員

長谷川経済部長

健康づくり課 関崎課長、田村室長、阿部主査、前田技師

農林課 大山課長、渡辺課長補佐、板垣室長

(4) 傍聴者 なし

(5) 報道機関 なし

### 6 開 会 午後 1 時 30 分

粟生田会長	委嘱状の交付(長谷川経済部長から神田委員へ委嘱状を交付) 神田委員自己紹介  これから、平成 25 年度第 2 回三条市食育推進及び農業振興審議会を開催いたします。 本日の出席は、定員 15 人のところ、出席 11 人、欠席 4 人で定員の過半数の出席であり、三条市食育推進及び農業振興審議会規則第 3 条の 2 に基づき、会議が成立しております。
-------	--

	<p>今日は、主催者の粋な計らいで、このような素敵な会場で会議が出来ますことを感謝申し上げます。</p>
栗生田会長	<p>それでは、報告事項(1)「第2次三条市農業活性化プラン 平成25年度中間報告」について事務局の説明をお願いします。</p>
事務局(渡辺課長補佐)	<p>(資料1について説明)</p>
栗生田会長	<p>それでは、報告事項(1)「第2次三条市農業活性化プラン 平成25年度中間報告」について、質問も含めて御発言をお願いします。</p>
佐久間委員	<p>資料1 ページの一番下の6次産業化等の支援事業につきまして、近年だと下田のふード工房ゆうこさんがされていると思いますが、園芸農家に関しては、誰も積極的に6次産業化する方がいらっしやらなかったために、なしということでしょうか。</p>
事務局(渡辺課長補佐)	<p>平成24年度は補助事業を活用し、五十嵐さんの工房を助成させていただきました。平成25年度は現在のところ、園芸の他の品目に関しては質問や照会等は届いていますが、補助事業の活用までには至っておりません。委員のみなさまから、御紹介していただけると大変ありがたいです。</p>
事務局(大山課長)	<p>6次産業化の支援、取組につきましては、いろいろな補助事業等を行っていますが、ハードルが高いことが実情です。みなさま、6次産業化の形を希望される方が多く、ハードルを下げるよう要望もあります。しかし、全国的に注目されていることですので、なかなかハードルを下げるまでいけない状況です。</p>
小林委員	<p>6ページ次世代農業教育事業で、学校教育田の実施がありますけど、市内21小学校というのは市内全部で21校ということですか。</p>
事務局(渡辺課長補佐)	<p>学校教育田については、下田地区の小学校で1校実施できなかった学校があります。実施されたところは21校です。</p>
小林委員	<p>5年生の子どもたちが田植えなどを体験させてもらっていますが、来年、嵐南小学校ができますが、今まで各学校で体験していた教育田の実施が難しくなると説明を受けました。嵐南小学校の子どもたちは、来年以降、体験す</p>

	<p>ることは難しいでしょうか。</p>
事務局(渡辺課長補佐)	<p>来年以降も体験できるよう繋げていきたいと思います。</p>
小林委員	<p>よろしくをお願いします。</p>
星野委員	<p>4ページ地産地消推進店事業についてですが、認定証をいただき、どれだけ地産地消の作物を使ったかということは、数字が出るのですか。例えば、市外のものを使っても認定をもらっているお店もあると思いますが、地産地消推進店において、産地の作物あるいは品物をどれだけ使ったかという数字を出すような方向等で、奨励した方が良いのではないのでしょうか。</p>
事務局(板垣室長)	<p>今は、地産地消推進店申請する時に、地元産食材を使っていれば、推進店になってもらっています。今後そのようなものがあれば、なお農産物の利用が増えることも考えられますので、可能であればやっていきたいと思いません。</p>
星野委員	<p>市としては、地産地消の作物に三条産ですというシール等貼って、何枚シールを使ったか集計するというのも可能ですか。今偽造がいろいろありますが、安いから市外のものばかり使ったというようなことが起きないように、対応などされていますか。</p>
事務局(板垣室長)	<p>今のところはできていません。今後の参考にさせていただけたらと思いません。</p>
外山委員	<p>2ページ2番目のふり売り支援事業について、なかなか買い物に出られないという人のためには、ふり売りは本当に大切だと思っています。資料から、燃料費として経費の一部を支援するとありますが、年間どの位使うのか、今何件あるのか、また、これから先どうするのか、お聞かせください。</p>
事務局(板垣室長)	<p>現在、5人程度の方々がこの事業に関わり、市から緑色のエプロンをお渡しし、振り売りを行っていただいています。今後どのように展開していくかは検討中です。</p>
外山委員	<p>そのような支援事業があるとことは、ふり売りをされている方たちに周知できていますか。</p>

事務局（板垣室長）	<p>ふり売りをどう解釈するかですが、私どもは農協からの情報をもとに周知しています。その後、リアカーなどで市内を広く回っている方もいるという話は聞いていますが、明確な情報をつかめていません。今後、そのような方々の情報を集めて、支援制度について周知していきたいと思います。</p>
栗生田会長	<p>他になれば、以上で質疑を終了させていただきたいと思いますが、いかがでしょうか。</p> <p>（異議なし）</p> <p>異議なしと認め、質疑を終了いたします。</p>
事務局（阿部主査）	<p>報告事項(2)「第2次三条市食育推進計画 平成25年度中間報告」について事務局の説明をお願いします。</p> <p>（資料2について説明）</p>
栗生田会長	<p>「第2次三条市食育推進計画 平成25年度中間報告」について質問も含めて御発言をお願いします。</p>
歌川委員	<p>資料2 1ページの離乳食相談会について教えてください。目標がそれぞれチャレンジ教室とステップアップ教室と掲げられていて、ほとんど100%に近い方が、不安が解消されたということですが、具体的にお母さん方は今どんな不安をお持ちなのか教えてください。</p>
事務局（前田技師）	<p>参加されたお母さん方の持つ不安としては、どの位の量をあげていいのか分からないとか、あげても食べてくれないとか、自分が子どもに食べさせているものが良いのかどうか分からないという方が多いです。実際に試食や調理実習をして「こんなものだよ」と、実物を見てもらって、そこで「これくらいの固さでいいわ」とか「私が食べさせていた量は少なかった。増やしてみよう」というところの解決につながっていく方が多いです。</p>
歌川委員	<p>参加される方は、第一子をお持ちの方ですか。</p>
事務局（前田技師）	<p>教室に参加される方は7～8割が第一子の方で、第一子をお持ちのお母さん方の5割くらいの方が教室に参加しています。</p>
外山委員	<p>97.4%はほとんど100%でしょうが、残りが何人かおられるという訳ですね。その方たちは、どのような回答をされたのでしょうか。</p>

事務局（前田技師）	理由がなぜかということはお聞きしていませんが、個人的にアドバイスをしても「私にはそれが難しいわ」と言って帰られた方や、お伝えしたことがすんなり入らない方はいらっしゃいます。
歌川委員	4ページの高齢者の給食サービスのことでお聞きします。非常に今高齢者の方が増えて、特にひとり暮らしの方が増えていられるということで、安否確認や食生活支援をやられていて凄いなと思ったのですが、食の支援が必要と判定された方とありますが、どういう基準で判定をされているのか教えてください。
事務局（田村室長）	この会議が食に関する部分について、三条市全体の取組を上げているのですが、この部分は高齢介護課が担当しておりまして、判定する基準等は把握しておりません。
歌川委員	判定ということだったので、どのような基準なのかなと思ったのですが、例えば身体的に何らかのリスクがある方等の選び方なのか、それとも世帯構成でしょうか。
事務局（田村室長）	世帯構成は「一人暮らしの世帯」もしくは「高齢者だけの世帯」という話がありましたが、定かではありません。
歌川委員	後程教えてください。
事務局（田村室長）	分かりました。後日、情報を把握してお伝えします。
皆川委員	1ページの離乳食相談会の離乳食チャレンジ教室とステップアップ教室の参加率はあまり良くないですが、参加率を上げる工夫はされていますか。それとも自由参加でしょうか。
事務局（田村室長）	自由参加です。第一子の方だけでも私たちは思っておりますが、第一子での参加が今の話で約50%くらいです。全体だと3分の1くらいの方です。5か月児の教室は、実は調理実習室で赤ちゃんをおんぶしながら料理ができることを体験していただきたくて、おんぶをして実習する形をとっていますので、あまり多くても今の状態では参加していただけないです。それでももっと参加していただきたいということで、いろいろな場面を通じて、ポスターを貼らせてもらったり、チラシを配らせてもらったりしていますが、これくらいの参加者でずっと継続しているのが実情です。

渡邊委員	<p>私は、このチャレンジ教室の託児の補助をさせてもらっていますが、20人いかないくらいですね。毎回は参加していないのですが。たまにお手伝いさせてもらっても、そんなに人数が多くなかったような気がします。こんなものかなと思っていたのですが、そうするとあの人数がだいたい3割くらいですね。</p>
事務局（田村室長）	<p>そうですね。ただ、その2回の他に、すまいるランドの方で、ぱくぱく食事相談というのがあります。子どもをあやしながら順番に相談するような場面もあり、10人は確実に来ます。20人くらい来られることもあり、普通は職員1人配置なのですが、応援で職員を呼んだりする時もあります。そういう方が気楽で相談しやすいのかなと思います。</p>
渡邊委員	<p>調理実習を終えて戻って来られたお母さん方に、たまに声掛けさせてもらいますが、やはり「勉強になった」という方や、第一子のお母さんは「こういう風に料理できるのですね」という方もいられます。</p>
事務局（田村室長）	<p>産科や病院とかにもお勧めするような御案内を出すのもいいのかなと思いますが、参加された方には大変好評ですので、参加を増やすように努めてまいります。</p>
佐久間委員	<p>10ページのバイオマス資源の利活用の促進ですが、完熟堆肥化センターで堆肥化されたものを使うとありますが、以前私はおからを堆肥化するという話を聞いたことがありますが、今現在おからを堆肥化して質の良い堆肥を作る話がありますか。</p>
星野委員	<p>おからは、量が少ないのでみんなやっています。給食残渣、植物残渣、あるいは加工で出てくるものについては生ゴミの原料とします。事業所によっては行き先が決まっているところもありますが、それ以外のものは全て受け入れております。</p>
外山委員	<p>ここの表に出てくる全部の数値、いい方の数値、例えば参考になったとか改善しようと思ったとか、これからの食生活を良くしていこうと思う人が66だとか、参考になったとか。そうでない人たちの答えがどんなものだったのか書いてあると良いかなと思いました。全部良かったではなく、そうでない部分を聞いて改善していかなければ、その次が分からないかなと思います。それを私たちにも教えていただけたらと思います。</p>
事務局（田村室長）	<p>基本的には、そういう目標に設定されているものについて、今10月現在</p>

長)	の状況を載せたつもりです。いただき御意見については検討していきたいと思いをします。
外山委員	11 ページ食育メールについて、すごく人数が少ないようですが、もう少し多くの方に配信できないでしょうか。メール配信希望者の目標が 20 人ですが、今のところ 7 人、これは登録しなければならないものですか。
事務局（田村室長）	食育メールは公共のところに直に配信しています。以前に、この審議会で、食育メールは広報等に入れられないかという御意見をいただきました。それを受けまして、病院や金融機関に印刷物を送り、設置してもらっています。しかし、もともとインターネット環境がある中で見てもらうような作りになっていますので、印刷物で見てもらうことには、限界があります。食育メールとして、電子メールで配信を希望する方を募る場面がありません。それも工夫が足りないのかなということで、これからどんな場面がいいのか皆さまから御意見をいただけたらと思います。なかなか希望をお聞きするチャンスがありません。
歌川委員	例えば、広報とかでピーアールはされていますか。
事務局（田村室長）	三条まんま塾という市民活動団体が発行している三条まんま塾だよりでは掲載していますが、広報さんじょうではしていないので、今後は広報を活用していきます。
栗生田会長	ほかになれば、以上で質疑を終了させていただきたいと思いますがいかがでしょうか。 (異議なし) 異議なしと認め、質疑を終了いたします。
事務局（阿部主査）	報告事項(3)「高齢者の食と暮らしの調査」結果について事務局の説明をお願いします。  (資料 3 について説明)
栗生田会長	「高齢者の食と暮らしの調査」結果について質問も含めて御発言をお願いします。では、私からお聞きします。2 ページの 2 行目の健幸という字が他の健康と字と違うのですが、何か意味があってこの字を使ったのでしょうか。

事務局（田村室長）	<p>三条市は今、スマートウェルネス三条という取組を進めています。それは、健康で幸せで住みよいまちを作りたい、それは無理やりさせるのではなく、誰もが自然にそういうふうな行動とか生活をしてしまうことで、健幸になっていきたいというもので、つけました。</p>
栗生田会長	<p>目的も理念も高く、この会議の存在意義にも直結すると思い、説明を聞かせてもらったのですが、そういうことを事業として宣伝し、どの様に広がっているのかがポイントになってくるかなと思います。</p>
事務局（田村室長）	<p>スマートウェルネス推進室は、今年4月に設置されたばかりです。そこが中心になって、市のいろいろな施策を繋いで、この取組を進めていこうという動きになっています。三条小学校区という一番高齢化率が高い地区をモデル地区とし、ゾーン30といって車のスピードを30kmに制限して、その地区をなるべく歩きやすいまちにする。それは歩く人が自然に増えること。それと同様の観点で自然に良い食べ方ができないか、また食べるということを通じてさらに歩くことができないかということで、この調査をやっています。</p>
栗生田会長	<p>ぜひ頑張ってもらいたいと思います。</p>
渡邊委員	<p>18ページのQOLの意味を教えてください。</p>
事務局（田村室長）	<p>QOLはクオリティ・オブ・ライフ（Quality Of Life）で、生活満足度という意味です。</p>
佐久間委員	<p>19ページの二・七の市で朝ごはん召し上がれについて、私も佐久間食品で市場に参加した時にこの食事を食べたのですが、大変おいしくいただきました。とても格安だったこともあって皆もわいわいと市場に活気が出たかなと思いました。採算が合わなかったり、ボランティアの継続が難しいと書かれていますが、マルシェ等と一緒に協力しながら行くと、継続できるかなと思っています。マルシェにはボランティアや学生、若い方がいます。私自身、若い方と高齢者を結びたくて、いろいろまちの活性を行っていますが、その視点から何か出来るかなと思っています。これは、年一回開催なのか継続開催なのか、もし案があればお聞かせください。</p>
事務局（田村室長）	<p>参加された方からは、「良かったので、暖かい時期にやって欲しい」という意見もありました。マルシェも4月から開催なので、一緒に4月から月1回くらい開催できたらと思います。市場で食物を提供するには、衛生上の問題から常設の調理室が必要ですが、月1回程度であれば臨時的とみなされ</p>

	<p>て、保健所の許可が得られます。ボランティアや出店者の協力が得られれば、春には月1回の頻度で開催したいと考えています。</p>
佐久間委員	<p>出店側から見て、費用対効果が悪いと書いてありますが、値上げや経費削減を視野に入れていただければ、この三者の協力を得られると思います。</p>
神田委員	<p>この調査は、現在の高齢者の状態を知るという目的で実施したと思いますが、結果で一番問題があるのは、「食事が楽しくない」という方が多いということだと思います。その対応策として先ほどの朝ごはんの会があるのだと思いました。私自身興味があったのが、食事の楽しさで「楽しい」方が218人、「楽しくない」方が77人ですが、その後の寿命とか健康状態に結びつくのか気になります。例えば食事が楽しい方を追跡調査したら、平均余命が10年ぐらいだった、楽しくないと答えた方が5年ぐらいで亡くなっていた等、大きな違いが出ると意味があると感じました。このアンケート調査は追跡調査出来ますか。氏名の記入はありましたか。</p>
事務局（田村室長）	<p>今回の調査は無記名です。</p> <p>私たちが、楽しいと思うか思わないかは、大事なポイントだと思っています。</p>
神田委員	<p>アンケートというのは、調査的に「はい、こうでした」で終わりやすいです。素晴らしいデータなので、ここから何か介入のきっかけを掴むとか、改善の目標を作るとか、そういうものに活かせればと思います。</p>
岩崎委員	<p>学校でも、高齢の方と一緒に食事をするような機会を設けて、本当に楽しいと感じていただけるような場作りができればと思いました。数値の確認ですが、14ページの食事が楽しいと感じている人は生活に満足している人が多いとあります。食事が楽しい人が218人、食事が楽しくない人が77人となっていますが、食事が楽しくない人には、どちらでもない人が含まれていますか。</p>
事務局（田村室長）	<p>はい、どちらでもない人が含まれています。</p>
岩崎委員	<p>どちらでもないという方の意識は、楽しくもあり楽しくもないぐらいの感じでしょうか。</p>
事務局（田村室長）	<p>私たちは楽しいと言い切れるところに着眼しました。どちらでもないと言</p>

長)	うのはつまらないのではないかと考えました。やはり、楽しいを意識してこのまとめにしました。ただ、楽しくないとはっきり答えた人が多い印象はあまりなく、どちらでもないが多かった気がします。
岩崎委員	今後、働きかける時に、どのような意識でいるかを掴むのが大事かなと思います。
皆川委員	高齢者の食事状況等を端的に見られたと思いました。このデータを大事にさせていただき、栄養士会も関わっていきたくて考えています。この調査の目的は高齢者福祉計画ですか。
事務局（田村室長）	スマートウェルネス三条推進の一環です。
皆川委員	その計画に反映させるためにとった調査ですか。
事務局（田村室長）	スマートウェルネス三条推進の一環で実施しましたが、対象者が高齢者なので、高齢者福祉施策の中の一つに組み込まれています。
皆川委員	食の部分に関しては食育推進室が連携して計画を立ててもらいたいです。良いデータですので、連携した計画になると、子どもからずっと繋がっていくと思います。三条市は子どもの部分には、すごく良い状況で関わっていますが、中高年以降の食生活の部分は取組が少ないと思います。そういう意味では、良い結果が出ていますので高齢者計画の中にも、みなさんの考えがどんどん入ると良い計画になると思います。7ページ食習慣および食環境で、3番目の平均食事時間10分程度という項目が記載されています。10分程度が23.2%とありますが、10分が好ましいということでしょうか。
事務局（田村室長）	選択肢の中で、一番多く選ばれていました。
皆川委員	それでも23%ですか。一番多い項目にしては、23%というのは少ない気がします。
事務局（田村室長）	相当なばらつきがありました。すごく僅差ですが、10分程度が一番多くて、次が20分程度でした。ここで注目したいのが、一人暮らしの方の10分程度が多いことです。32.1%ですので、一人暮らしの観点で食事を誰かと一緒に食べていない方が楽しくない、食事が短いということが伺えます。

皆川委員	それが低栄養に繋がっていると言われていました。
神田委員	今回は第一発目の状況把握調査だと思いますが、次回行う時は、どのような結果に結びついたかを知るために、何か追跡できるような形にした方が良いでしょう。食事時間が短い方は寿命が短いとか低栄養になりやすい、あるいは食事が楽しくないと答えた方は非常に寿命が短い等、問題にしなければならぬ結果に結びつくかと思います。プライバシーの問題等難しいでしょうが、同じ手間がかかるのであれば、しっかりした調査を行った方が良いでしょう。
事務局（田村室長）	調査と呼んではいますが、実はアンケートです。個人名を入れないことで、回答を得られやすいと考えました。この調査については、県立大学の村山教授から御指導いただいております。また、つくばウエルネスリサーチからも、低栄養になりやすいのは、楽しくない方、バランスが悪い方、共食をしない方、経済的にゆとりのない方等関連がある項目ということを教えていただきました。
神田委員	今の調査方法はほとんど訪問式です。単身高齢者と高齢者を含む世帯は、訪問式ですので、匿名である必要はないはずです。お年寄りにはプライバシーに対してはナーバスではありませんので、言えばやってくれると思います。行政がこのデータを活かそうとしていないからではないのでしょうか。せっかく300人以上の方を調べているのですから、もっと厚みがあり役に立つ情報にするには、やはり追跡できるような調査方法が良いと思います。
佐久間委員	施策の展開案で、おばあちゃんの台所という企画がありますが、私自身すごく興味を持ちやりたいなと思いました。おばあちゃんの台所は、公民館等の施設で、高齢者のみを対象に行うのかなと思いますが、ぜひ、次世代に繋げるために子どもを組み入れていただきたいと思います。高齢者と暮らしているお子さんはしつけが良いというデータがあり、見ているとそのような気がします。高齢者と子どもが交流するのは喜ばしいです。先般、教育委員会と豆腐の料理教室を一ノ木戸交流センターで行った時に、高齢者と子どもと一緒に仲良くやっている姿は大変微笑ましかったので、ぜひ高齢者の食事施策とともに次世代に繋ぐための食事と一緒にやっていただけたらと思います。
事務局（田村室長）	まだ提案段階ではありますが、活かしてまいりたいと思います。

渡邊委員	<p>施策の展開のページの、まちなかで朝ごはん、みんなでランチ、おばあちゃんの台所がありますが、そういう場所に、先ほどの単身高齢者等の方々に声かけをし、週に一度または月に一度でもいいので、一人で食事をする機会を減らせる方向にさせていただけると、また、食事が楽しいという方も増えるような気がします。</p>
事務局（田村室長）	<p>19ページの、二・七の市で朝ごはん召し上がれ事業があります。これは、この調査の結果が出つつあった頃、試行的にやったものです。これを実施するにあたり、調査結果報告会にて、民生委員さん、自治会長さん、食生活改善推進委員さん、健康推進委員さんに集まっていただきました。二・七の市で朝ごはん提供を行うことで、近くの高齢者の方に声をかけていただくようお願いし、大勢の方から集まっていただきました。声かけし参加してくださった方は、「いやだったという方はいなかったよ」と、好感触でした。「社会との接点もあり、自分たちの地域を作っていくことのきっかけになる気がした」との声もありました。ぜひ、地域のネットワークを活用し、一緒に来ていただくようになればと思います。</p>
渡邊委員	<p>お弁当の宅配や地域コミュニティ等でも、そういう話は出ているようですが、やはり予算的なものがあり、単身高齢者の世帯にお弁当を配ることはできないようです。大崎コミュニティでもそのような話があり、依頼はあるけれど予算的に厳しい、代金もあまり取れないという話です。また、高齢者はバスやタクシーに乗ってまで行きにくいと思いますが、歩いて行ける距離の所で提供があれば、歩いて行くと思います。外へ出る機会があると、生活も楽しくなると思います。</p>
事務局（田村室長）	<p>今後の取組は、みなさまの御意見を参考に検討してまいります。</p>
星野委員	<p>市では、保育所の食育に力を入れていますが、それとマッチングする事ができないでしょうか。例えば、一人暮らしの方をお招きし、保育所で一緒に食事をするとか。また、ただ食べるだけでなく、孫あるいはひ孫のような子どもたちに何か教えることによって、生きがいや生活満足度も上がる気がします。食育から離れますが、18ページの写真のようにお年寄りの方がダンスをしています。そのような場面で、孫やひ孫と一緒に踊ったり、良いこと悪いことの善悪をきちんと教えたりすることが高齢者の役割かなと思います。</p>
事務局（田村室長）	<p>ありがとうございます。すごく良いと思います。ただ、三条小学校区に公</p>

長)	立保育所がなく、私立幼稚園だけです、そういう点も含めて検討してまいります。
星野委員	先ほど、佐久間委員から、お年寄りと住んでいるとしつけもきちんとできるという話がありましたが、保育所は地域にありますので、受け入れやすいと思います。
栗生田会長	<p>ほかになれば、以上で質疑を終了させていただきたいと思いますがいかがでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p> <p>異議なしと認め、質疑を終了いたします。</p> <p>報告事項(4) 高校生の食育について事務局の説明をお願いします。</p>
事務局 (阿部主査)	(資料4について説明)
栗生田会長	<p>高校生の食育について質問も含めて御発言をお願いします。</p> <p>三条高校が食育講座の希望がないということですが、実は私は、12月初めに三条高校に出前講義に行きますので、この会議の様子だとかを含めて宣伝してきたいと思います。三条市は、子どもから高校生、成人、高齢者までトータルで食事と健康について、考える場所があるというのは非常に良い点だと思っています。それをどのように統括して授業を進めていくのかは、まだこれからだと思いますが、そこに住んでいる人たちが健康になることにより行政の支出が少なる、さらに、住んでいる人たちも楽しくなり、良い循環がぐるぐる回ることによってより良いものになっていくと思いますので、頑張ってください。</p>
栗生田会長	<p>ほかになれば、以上で質疑を終了させていただきたいと思いますがいかがでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p> <p>異議なしと認め、質疑を終了いたします。</p> <p>その他、事務局何かありますか。</p> <p>配布資料について、次のとおり事務局説明する。</p> <p><b>【渡辺課長補佐】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キッチンが走る</li> <li>・農業担い手育成塾 (新潟日報掲載記事)</li> <li>・イタリア料理のシェフと三条シティセールス事業とタイアップ事業</li> </ul>

<p>栗生田会長</p>	<p><b>【田村室長】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校食育推進事業（読売新聞掲載記事）</li> </ul> <p><b>【前田技師】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・しみん食育と農業のつどい</li> <li>・さんじょう旬歴 2014</li> </ul> <p>以上で本日用意した内容はすべて終了しました。  これにて平成 25 年度 第 2 回三条市食育推進及び農業振興審議会を閉会いたします。本日は誠にありがとうございました。</p>
--------------	--

7 閉 会 午後 3 時 15 分